

令和3年12月9日 開会

令和3年 第4回 東松島市議会定例会

議員一般質問通告書

東松島市議会

《 議員一般質問 目次 》

順位	氏名	件名	頁
第1位	齋藤 徹	1 本市における自治体D Xの取組について	3
第2位	五野井 敏夫	1 旧鳴瀬町地域の過疎対策を問う	4
		2 市道作田浦・月観14号線の幅員を問う	5
		3 交通安全対策を問う	6
第3位	石森 晃寿	1 災害公営住宅の家賃低減について	7
		2 企業誘致先の整備について	8
		3 新たな排水機場の整備について	9
第4位	千葉 修一	1 赤井地区の避難道路整備について	10
		2 道の駅構想の進捗状況について	11
第5位	長谷川 博	1 年末に向けた暮らし・営業への支援について	12
		2 国民健康保険負担の子ども均等割独自減免について	13
第6位	土井 光正	1 まちの活性化について問う	14
		2 防災教育のあり方を問う	15
		3 結婚新生活支援及び子育て支援について問う	16
第7位	浅野 直美	1 本市の人口減少対策と関係人口増加による効果について伺う	17
		2 保育所・幼稚園・小中学校の安全管理と危機対策を万全にせよ	18
		3 魅力ある学校づくりの推進について	19

第8位	大橋 博之	1	蔵しっくパークの今後の運営について	20
		2	移住・定住政策を強化せよ	21
第9位	熊谷 昌崇	1	自転車保険義務化対応について	22
第10位	阿部 秀太	1	米価下落の影響と今後の農業について	23
		2	循環型経済への取組について	24
第11位	櫻井 政文	1	観光による地域活性化について	25
		2	新聞活用による学力向上について	26
第12位	井出 方明	1	人口減少対策について問う	27
第13位	手代木 せつ子	1	各種健康診査の受診率を向上せよ	28
		2	小野地域活性化のため「ひだまりの里」を存続せよ	29
第14位	滝 健一	1	交通安全のために	30
第15位	小野 恵章	1	地域課題の解消を図れ	31
		2	児童生徒への学習支援強化の方策を図れ	32

【質問者数 15人・質問件数 30件】

氏名	件名	要旨
<p>第1位</p> <p>齋藤 徹</p>	<p>1. 本市における自治体DXの取組について</p>	<p>令和3年9月1日にデジタル庁が発足し、本市においても総務省の自治体DX推進計画に基づいて計画を策定中と推察するが、作業効率の向上と、各種手続きのオンライン化による市民サービスの利便性向上等を滞りなく推進するための取組について以下に問う。</p> <p>(1) マイナンバーカードを利用したオンラインサービスが今後増加することが見込まれるが、更なる普及率向上へ向けた取組は。</p> <p>(2) 国では住民基本台帳等の17業務に対して標準仕様に準拠したシステム Gov-Cloud (ガバメントクラウド) を活用した標準化作業を2025年度末まで完了する計画であるが、本市における現行システムからの移行に対する計画はどのようになっているか。</p> <p>(3) DXを活用した市職員の窓口業務、会議、事務作業等の効率化へ向けた取組を推進すべきだが、現段階での本市の計画は。</p> <p>(4) 近年多発する災害や平時の催し等、市内情報をできるだけ早く伝える手段としてLINE等のアプリケーションを活用した公式アカウントを利活用する考えは。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第2位</p> <p>五野井敏夫</p>	<p>1. 旧鳴瀬町地域の過疎対策を問う</p>	<p>過疎地域として指定された旧鳴瀬町地域は、小野地区、野蒜地区、宮戸地区に大別されている。いずれの地区も人口減少が続き今後の推計を見ても減少化に歯止めがかからないとの検討予想である。3地区はそれぞれ地域性が異なり集落形成がなされてきた。</p> <p>今回の3地区の過疎対策について、以下の点について問う。</p> <p>(1) 3地区の人口動態調査は実施したか。</p> <p>(2) 3地区の地域性、地理的要件、ライフライン整備の状況をどのように分析したか。</p> <p>(3) 3地区の特色あるまちづくりを具体的にどのような方向づけし、どう展開していくのか。</p> <p>(4) 事業計画で小野地区のみの移住定住策の具体には、日本ウェルネス宮城高等学校の寮の設置とある。他は地域全体を対象とした過疎地域持続的発展特別事業とあるが、生活必需品購入店舗、他の商業活動の活性化策が見えていないが、どう対処するのか。</p> <p>(5) 野蒜地区の被災元地について、令和の果樹の花里づくりの果樹園の整備等とは具体には何か。また、野蒜地区被災元地地域資源再生利活用事業の湿地の再生の目途は何か。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第2位</p> <p>五野井敏夫</p>	<p>2. 市道作田浦・月観14号線の幅員を問う</p>	<p>本路線については、何か所も幅員のでこぼこがあり通行に不便をきたしており、住民の安全対策及び災害避難時にも大いなる支障が生じる。道路状況を今後どのように改善していくのか伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第2位</p> <p>五 野 井 敏 夫</p>	<p>3. 交通安全対策を問う</p>	<p>(1) 市内の歩車道区分の縁石と外側線の設置基準はあるのか。また、路側帯の色の指定はどうなっているのか。</p> <p>(2) 信号機の点灯時間の間隔の差違は何をもってつけているのか。</p> <p>(3) 市内の小中学校の交通安全教習はどのように行っているのか。</p> <p>(4) 自転車の車道通行について市道についてはどう対処しているか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長、教育長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第3位</p> <p>石 森</p> <p>晃 寿</p>	<p>1. 災害公営住宅の家賃低減について</p>	<p>東日本大震災から、10年9か月が経過した。災害公営住宅に入居している方は、短い人で3年、長い人で8年経過した。この間、働き手が増え、世帯の所得が上がり、家賃も大幅に上がったことから市外に転居している方も見受けられる。「住み続けられ持続・発展する東松島市—地方創生のトップランナーをめざす」のであれば、東日本大震災で被災し、災害公営住宅に入居している方の家賃を市独自の政策で低減し、住み続けられるようにするべきではないのか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第3位</p> <p>石森 晃寿</p>	<p>2. 企業誘致先の整備について</p>	<p>旧鳴瀬町地域は、令和3年4月1日に過疎地域に指定された。これからは、過疎指定に伴って過疎対策事業債等の有利な財政措置を講じ、旧鳴瀬町地域の振興を図り、人口の維持・確保が、期待される。</p> <p>そこで、三陸自動車道鳴瀬奥松島インター付近の土取り場跡地を活用した企業誘致先の整備を考え、雇用の場を確保する考えはいかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第3位</p> <p>石 森 晃 寿</p>	<p>3. 新たな排水 機場の整備につ いて</p>	<p>上下堤地区の排水は、主に既存の農業用の若針排水機場だけに委ねられている。しかし、降雨時には、堤川からの流入を含む雨水排水を十分に処理できず、道路の越水や水田の水没に至っている。この状況を改善するには、1級河川堤川から1級河川吉田川に排水する排水機場の新設が急務である。</p> <p>市長は、市長就任以来、新たな排水機場の新設を宮城県に要望しているが、どのようになっているのか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第4位</p> <p>千葉修一</p>	<p>1. 赤井地区の避難道路整備について</p>	<p>東松島市第2次総合計画後期基本計画において、「赤井地域と市内各地及び石巻市を結ぶ安全で便利な道路環境の整備を促進する。」とあることから、次の点について伺う。</p> <p>(1) 市道川前線と市道小松・赤井線は災害時の避難道路であり、緊急輸送道路にも位置付けられている。この2路線の交差点には信号機が設置されているものの、交通量が増え渋滞が激しい。右折のための右折レーンの改良が必要と思慮するがいかにか。</p> <p>(2) 南赤井地区から直接北の方向に向かう主要な避難道路は、川前線のみである。今年春先の地震でも渋滞が発生し、解消するまでに30分以上の時間を要した。既存の別路線を改良した新たな主要避難道路の整備が必要であると思慮するがいかにか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第4位</p> <p>千葉修一</p>	<p>2. 道の駅構想の進捗状況について</p>	<p>道の駅構想については、令和3年第2回定例会で一般質問し、令和5年10月の開業を目指し、道の駅整備構想推進プロジェクトチームが道の駅を所管する国土交通省や宮城県との事前協議を進めており、用地の全体計画や各施設の具体的な検討も進めていることを確認した。</p> <p>その後の進捗状況を問う。</p> <p>(1) 道の駅整備構想推進プロジェクトチームによる国土交通省や宮城県との協議の進展はどのようになっているか。</p> <p>(2) 三陸縦貫自動車道上り線矢本パーキングエリア隣接地の整備状況、直売施設及び食堂など各施設の具体的な計画について問う。</p> <p>(3) 有名ブランド店の出店については、令和3年第2回定例会の一般質問の答弁では今後の研究課題ということであったが、その後の出店に対しての方向性を問う。</p> <p>(4) 市道百合子線改良舗装工事の進捗状況について問う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第5位</p> <p>長谷川博</p>	<p>1. 年末に向けた暮らし・営業への支援について</p>	<p>コロナ禍が長期化し、暮らしと営業を守る取組が年末に向けて求められている。</p> <p>(1) 今年の米価下落に対する稲作農家への支援はどのように考えているか。</p> <p>(2) 原油高騰の影響を受けている市民と事業者への支援を講じるべきと考える。 総務省では自治体の独自補助に対して、2分の1の交付税措置を決めたと聞き及んでいる。 とりわけ、生活困窮者に対する灯油購入費等の助成（福祉灯油の実施）、特別養護老人ホーム、障がい者施設等の社会福祉施設、保育園等に対する暖房費高騰分の助成、施設園芸農家、漁業者等に対する燃油高騰分の助成などを行うべきと考えるがどうか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第5位</p> <p>長谷川博</p>	<p>2. 国民健康保険負担の子ども の均等割独自減免について</p>	<p>この件は、子育て世帯の負担軽減を図るとの観点から全国、県内自治体の取組事例を紹介して、令和元年第3回定例及び令和2年第3回定例会で本市でも取り組むよう提言した。</p> <p>その際の答弁は、本市が独自減免を行った場合、軽減額900万円の負担増、さらに、システム改修費1,800万円がかかること、また、世代間の公平性などから困難とされていた。</p> <p>一方で、これまで、国に対して、全国知事会をはじめ地方団体から、子育て支援に逆行していると、「均等割」の見直し要求が出されていた。この件で、2022年4月から、国保税の未就学児に対する「均等割」を5割軽減する国の制度が始まるとの情報を得た。負担割合は国1/2、都道府県1/4、市町村1/4としている。</p> <p>この際、制度の開始に合わせて、本市では均等割減免を、就学時から18歳までの子どもを対象者を独自に拡充し、国保に加入する子育て世帯への支援を行うべきと考えるがどうか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第6位</p> <p>土井 光正</p>	<p>1. まちの活性化について問う</p>	<p>震災復興も10年目に入り、ハード面の整備がほとんど完了する中で一息も束の間、コロナ禍で経済活動や市民活動の制限により、まちの活性化が低迷している状況である。先日行われた第1回産業祭はコロナ禍にも関わらず8千人の人出で賑わったとマスコミから報道されている。これらを踏まえ、次の点について伺う。</p> <p>(1) 産業祭について、市民からは、多くのブースの出店で、久しぶりに楽しめた等の声を聞く。実行委員長としての市長の所感を伺う。</p> <p>(2) 本市では、夏の航空祭、夏まつり等のイベントがあるが、来年度以降の産業祭の実施について伺う。</p> <p>(3) まちの活性化については、交流人口も大事であるが、定着人口も重要な課題である。市長はかねてより、市の土地区画整理事業で安価な土地の提供を図ると言われるが、具体的な市街化区域の編入の動きが見えない。現在、どのような状況であるのか伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第6位</p> <p>土井 光正</p>	<p>2. 防災教育のあり方を問う</p>	<p>震災から10年目にあたり、あらためて震災を検証するために気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館、石巻市震災遺構大川小学校、山元町震災遺構中浜小学校の震災遺構を視察した。また、会派で八戸市みなと体験学習館「みなっ知」を訪れ、歴史・文化や東日本大震災の被害を伝える学習の場として機能している施設を視察した。</p> <p>これらを踏まえ、次の点について伺う。</p> <p>(1) 「語り部から知る」を防災教育の取組として重点的に推進し、震災を風化させないための語り部の後継対策及び支援対策を永続的に講じるべきであると考えている。市長はこのことについて、令和3年第2回定例会において必要な支援について今後検討すると答弁したが、その後どのような検討をしたのか伺う。</p> <p>(2) 奥松島運動公園や奥松島クラブハウス等の復興施設が本年オープンしたが、いずれも津波浸水区域内に整備されている。来訪者や利用者に対し、地震時における津波避難経路を的確に示すことを検討すべきと考えるがいかがか。</p> <p>(3) マイ・タイムラインを小学校の夏休み等の宿題として設定し、家族等で防災を考える機会をつくるべきと考えるがいかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長、教育長】</p>

氏名	件名	要 旨
<p>第6位</p> <p>土井 光正</p>	<p>3. 結婚新生活支援及び子育て支援について問う</p>	<p>若者の希望する結婚が、それぞれの希望する年齢で叶えられるような環境を整備することが重要であり、国においても先進的取組の展開を進めることとされている。本市においては、平成29年度から結婚新生活支援補助金を助成している。</p> <p>これらを踏まえ、次の点について伺う。</p> <p>(1) 本市では一般型として30万円を限度として助成しているが、国では今年度から都道府県主導型市町村連携コースが設定されて60万円を限度として助成されている。残念ながら宮城県ではまだ手を挙げていない。県がこのコースを実施すれば、市としての負担が2分の1から3分の1へと減り、利用者にとってもメリットが大きくなる。県に対して同コースの実施を強く求めるべきと考えるがいかがか。</p> <p>(2) 今国会で18歳以下を対象にした10万円相当の給付、子育て未来応援金給付金が成立見込みである。その内容は、年内中に5万円の現金支給であり、来年に5万円相当のクーポン券等で支給となる。クーポン券の発行は自治体に委ねられていることから、クーポン券を有効に利用できるよう適切な時期の発行をすべきと考えるがいかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第7位</p> <p>浅野直美</p>	<p>1. 本市の人口減少対策と関係人口増加による効果について伺う</p>	<p>令和2年国勢調査における本市の人口は、39,121人であり、5年前の平成27年の調査時から382人の減少で留まっている。</p> <p>宮城県全体で人口減少が顕著である中、本市の増減率は0.97%減であり、移住定住の促進や交流人口拡充等の様々な施策が功を奏したものと考えられる。</p> <p>今後、第2次総合計画後期基本計画に掲げる2025年までの基本目標達成を目指し、更なる対策が必要と考え、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 他の自治体も少子化・人口減少対策、移住定住対策を充実させており、人口の奪い合いが進む中、地域や地域の人々と多様に関わる関係人口の創出も課題解決の一つであると考えられるがいかがか。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により大きく落ち込んだ交流人口の回復や、アフターコロナを見据えた観光客誘致において、コロナ禍で生まれたオンライン関係人口が今後影響してくるものと考えられる。本市のホームページ、SNS等の発信力について伺う。</p> <p>(3) 本市のブランド力を活かした「ふるさと納税」について、より本市に関心を持ち知ってもらうために、特産品に加え農業や漁業の体験型も魅力的であると考えられるがいかがか。</p> <p>(4) 関係人口の増加から移住定住のために空き家の利活用も期待される。空き家の現状について伺う。</p> <p>また、空き家を交流施設としての活用が可能であるか伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第7位</p> <p>浅野直美</p>	<p>2. 保育所・幼稚園・小中学校の安全管理と危機対策を万全にせよ</p>	<p>本年11月9日、登米市の認定こども園に、刃物を持った男が侵入する事件が発生した。職員の適格かつ迅速な対応により現行犯逮捕され、子どもと職員に怪我はなかったが、子どもたちや保護者への精神的な衝撃は大きかったものと懸念される。</p> <p>子どもたちの安全を確保するため、不審者対策を強化すべきであることから、以下の点について伺う。</p> <p>(1) この事件を受けて、保育所・幼稚園・小中学校での確認作業や安全対策の会議等を実施されたか。</p> <p>(2) 各施設において、不審者に対する防犯マニュアル等は作成されているのか。また、不審者対応の訓練等は行われているのか。</p> <p>(3) 警察や各関係機関との連携は万全か。</p> <p>(4) 登下校の安全確保のため地域と連携して対策を進めていくことが重要であるが、「子ども110番の家」等、市から地域への積極的な働きかけや体制づくりは行われているのか。</p> <p>(5) 学校や施設の防犯カメラや、各施設において防御に利用できる道具の設置数に不足はないか。また、管理は万全か。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長、教育長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第7位</p> <p>浅野直美</p>	<p>3. 魅力ある学校づくりの推進について</p>	<p>本市のまちづくりの方向性の「子どもたちの可能性を広げ伸ばす学力向上」の中に魅力ある学校づくりの推進が施策の一つとして掲げられている。</p> <p>子どもたちの自己肯定感、自尊感情を育む教育の推進が重要であることから、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 全ての児童生徒にとって、学校が行きたくなる大切な場となるための取組を伺う。</p> <p>(2) コロナ感染防止対策による学校行事等の自粛に伴い、児童生徒の活躍の場や、互いが認め合い絆づくりを創出する機会が少なからず損なわれたのではないかと懸念されるが、現状について伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 教育長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第8位</p> <p>大橋博之</p>	<p>1. 蔵しっくパークの今後の運営について</p>	<p>現在「蔵しっくパーク」はNPO東松島まちづくり応援団が指定管理者として施設の管理運営を行っている。今年度末で期間が終了し、その後は指定管理は継続しない方針と伺っている。</p> <p>令和4年度以降の運営について、以下の点について伺う。</p> <p>(1) ひと・まち交流館の耐震診断の状況と結果を踏まえての今後の対応について</p> <p>(2) 指定管理者制度を継続しないのであればどのような運営管理体制になるのか。</p> <p>(3) 今までNPO東松島まちづくり応援団が担ってきた市民活動団体の支援事業やイベント事業等の活動はどのような体制で継続していくのか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第8位</p> <p>大橋博之</p>	<p>2. 移住・定住政策を強化せよ</p>	<p>今年11月9日から11日にかけて松桜会の会派研修において、北海道旭川市・東川町・美瑛町・富良野市を訪問した。各自治体では、人口減少対策として移住・定住政策を積極的に実施していた。本市でも第2次総合計画後期基本計画において、移住・定住の促進を掲げている。先進事例を参考に、以下の点について取り組むべきと考える。</p> <p>(1) 地域おこし協力隊の増員を図れ</p> <p>(2) 若者への情報発信を強化すべき</p> <p>(3) 雇用の場の創出のため、第1次産業との連携を図れ</p> <p>(4) 移住・定住ワンストップ窓口の拡充の具体策は</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第9位</p> <p>熊谷 昌崇</p>	<p>1. 自転車保険義務化対応について</p>	<p>全国で自転車利用者に損害賠償保険への加入を義務づける動きが加速している。宮城県においても加入の義務化が令和3年4月1日から施行されている。</p> <p>そこで、以下の件について問う。</p> <p>(1) 周知の徹底は行っているか。</p> <p>(2) 自転車通学者の加入状況を把握しているか。</p> <p>(3) 他の自治体では、自治体主催の安全講習会等を受講した場合、TSマーク貼付け代金の1,000円分の助成を行っているところもあるが、本市でも検討すべきではないか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長、教育長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第10位</p> <p>阿部 秀太</p>	<p>1. 米価下落の影響と今後の農業について</p>	<p>主食用米から飼料用米等へ相当規模の転換を図ったにも関わらず、米価の下落は予想をはるかに超え、管内米農家から悲痛な叫びにも似た声が上がっている。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 今回の米価下落の影響をどう捉えているのか。また、どのような対応を考えているのか。</p> <p>(2) 担い手不足や原油高騰下での米価の下落であり、本市農業の道筋を示すビジョンが必要と考えるがどうか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第10位</p> <p>阿部 秀太</p>	<p>2. 循環型経済への取組について</p>	<p>地域経済の活性化について、地域内の産業間の連携を強めるとともに、消費においても地域内調達することで経済が循環すると言われている。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 東松島市の所得の循環について、どのようにとらえているか。</p> <p>(2) 地域の経済循環を高めるために、どのような取組を必要と考え、また、なされているのか。</p> <p>(3) 地域通貨や地域ポイントは、地域経済の循環を補完する有用なシステムと考えるが、導入する考えはないか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第11位</p> <p>櫻井 政文</p>	<p>1. 観光による地域活性化について</p>	<p>持続可能な観光の実現によって地域の活性化を成し遂げるには様々な課題がある。</p> <p>例えば、地域資源を観光資源に磨き上げるとか観光客の滞在時間を延長し、1人当たりの消費額を大きくするなどである。</p> <p>言うまでもなく観光による経済波及効果は大きいものがあり、また、観光による収益は地方創生の原動力になると思料する。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 関係人口の創出拡大について</p> <p>(2) 食と観光の連携をいかに推進するか。</p> <p>(3) 地域通貨の導入について</p> <p>(4) 本市のブランドの統一や確立について</p> <p>(5) 被災跡地を観光花畑やオートキャンプ場に整備・活用することについて</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第11位</p> <p>櫻井 政文</p>	<p>2. 新聞活用による学力向上について</p>	<p>NIE（新聞を学習に活用する活動）は、全国の多くの学校で実施されている。</p> <p>全国学力・学習状況調査の小学校国語の正答率を比較した結果、NIEを実践している学校の方が全国平均より、4.0ポイント高くなっている。明らかにNIEは教育効果があることが実証されている。</p> <p>また、NIEの効用は国語力を伸長させるだけでなく、考える力をつけることや更には社会を学ぶ窓口になるということもあげられる。</p> <p>将棋の藤井聡太竜王は、小学校から新聞の熱心な読者であり、新聞を読むことが「考える力」になっていると語っている。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 本市におけるNIEの取組の現状は。また、今後どのように推進していくか。</p> <p>(2) 学校の図書館に新聞を置いているか。</p> <p>(3) 学校だけでなく、家庭でも日常的にNIEを推進してほしいがその方策は。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 教育長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第12位</p> <p>井出方明</p>	<p>1. 人口減少対策について問う</p>	<p>本市では現在「過疎地域持続的発展計画」を策定中であり、今後はこの計画に基づき各種施策を積極的に進められていくと期待している。</p> <p>ただし、今からは殆どの自治体が人口減少対策に取り組むことが予想され、限られた予算と人の奪い合いになることが予想される。このような状況下では、施策に独自性と魅力を持たせ、欠点となる部分を改善していかなければ競争に負けてしまうことは明白である。</p> <p>そこで、次の点について問う。</p> <p>(1) 学力向上施策 現在の状況及び向上させるための具体的方策はあるか。</p> <p>(2) 名産品に対する支援 牡蠣、海苔等の名産品をアピールしているものの、温暖化や予定されている福島第一原発からの処理水海洋放出の風評被害による影響が既に出始めている。具体的に支援策の検討はされているか。</p> <p>(3) イベントの開催及び助成 各種イベントは多くの集客が可能である。先日の産業祭のようにイベントの定期的開催及びイベントへの助成は検討されているか。</p> <p>(4) 適切な国際交流のまちづくり コロナ収束後においてはインバウンドマーケティングに期待する部分が重要となってくる。観光集客のみならず国際的交流イベントの開催や外国人をターゲットとした学校の設立を通じて外国人を招き入れ、育成し、新たな労働力を得ていく考えはあるか。</p> <p>(5) 資源の資本化 本市は、美しい自然、ブルーインパルスなど他に引けを取らない観光資源を有している。これを資本化するための具体的方策を考えているか。</p> <p>(6) 心の豊かさ 心の豊かさが無ければ殺伐としたまちになってしまう。住みやすく魅力的なまちづくりをするために芸術等の振興策についての考えはあるか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長、教育長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第13位</p> <p>手代木 せつ子</p>	<p>1. 各種健康診査の受診率を向上せよ</p>	<p>令和元年に発生した新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、私たちの日々の生活は一変したが、2回目のワクチン接種率の向上による感染者の減少で元の生活に戻りつつある。市民が健康で安心した生活を送るためにも、病気を早期に発見し、早期治療に繋げることで重症化を防ぐことができる。そのためには、定期的な健康診査は必要不可欠である。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) コロナ禍の中で実施された令和3年度の健康診査で受診率を向上させるため、どのような工夫を行い、その成果はどうだったのか。</p> <p>(2) 様々な検査・検診を受診する際、本市の受診者負担額が石巻圏域において他の自治体に比べ高額である。そのことと受診率との関係性について伺う。</p> <p>(3) 令和4年度の健康診査実施にあたり、各種検査・検診受診者負担額を見直しすべきではないか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第13位</p> <p>手代木 せつ子</p>	<p>2. 小野地域活性化のため「ひだまりの里」を存続せよ</p>	<p>令和4年度の小野市民センターの大規模改修にあたり、敷地内にある小野地域ふれあい交流館「ひだまりの里」の運営について伺う。</p> <p>(1) 本施設は平成30年11月に供用開始し、小野地域における地域密着型の「小さな拠点施設」として、今は買い物弱者と言われる高齢者の方々に大いに利用されているが、令和4年度の小野市民センターの大規模改修に合わせ休業せざるを得ないと聞いた。今後の運営見通しについて伺う。</p> <p>(2) 令和2年度決算審査時の質疑に対する担当課の答弁では、「ひだまりの里」の運営について、令和3年度はまちづくり協議会に依頼して、役員会で定期的な情報共有の場を設け、地域住民の更なる理解促進と運営向上に向けた話し合いの場につなげていけるよう調整を進めるとあったが、その成果はどうであったか。</p> <p>(3) 「ひだまりの里」は小野地域の方々の休憩場所、お茶のみ場にもなっていて、生産者の会では存続を求めている。地域活性化を図る地域住民の交流の場として、過疎債を適用した事業として存続することを検討すべきと考えるがいかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第14位</p> <p>滝 健 一</p>	<p>1. 交通安全のために</p>	<p>小野地域の交通安全確保のため、住民が考えている次の点について伺う。</p> <p>(1) 交差点付近に当然あってしかるべき箇所に、止まれ標識と表示、停止線が表示されていないところがある。例えば、小野新道地区の鍛冶沢を出ての市道との交差点、更に進んで県道との交差点付近。また、城内地区の日本ウェルネス宮城高等学校の裏門からの市道と県道の交差点に止まれの標識等がない。設置されるよう対処すべきである。そのほかにも、小野地域から市へ交通安全施設の設置要望が出されているはずであるので、それらの対応状況について伺う。</p> <p>(2) 鳴瀬桜華小学校前の押しボタン式信号機が移設されたが、商工会前の道路から県道に出る場合、この信号機に気付きにくい場合があることに対処すべき。</p> <p>(3) 県道鳴瀬南郷線を通る車は、小野歩道橋前から下り坂になっているので速度が出やすく、今後日本ウェルネス宮城高等学校の生徒の増加もあり、注意喚起の標識等が必要では。</p> <p>(4) 市道小野町線にスピード制限標識を設置すべき。</p> <p>(5) 鳴瀬未来中学校及び鳴瀬桜華小学校の児童生徒の通学安全確保のため、河川堤防道路を通学するようにしてはどうか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長、教育長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第15位</p> <p>小野 惠章</p>	<p>1. 地域課題の解消を図れ</p>	<p>各地域において、地域問題に目を向けようと積極的に市政懇談会が開催されている。問題が提起されれば、解決策を取っていくのが市の役割だ。</p> <p>そこで、以下の点について市長の所見を伺う。</p> <p>(1) JR仙石線野中踏切の閉鎖に言及された。関係地域には、早めの説明が求められるのはもちろんのこと、近接地域や歩道橋の劣化対応、上小松踏切を交差する県道の交通安全対策等の計画の検討や県等関係機関への要望が必要ではないか。</p> <p>(2) 自衛隊北区官舎跡地に約20戸の宅地造成工事が行われている。市道新沼37号線の拡幅工事が必要と思慮するがいかに。</p> <p>(3) 上町東地区センターは、商店街の中に位置する。商店街活性化や矢本駅の利便向上等に寄与するために、地区センターの駐車場の有料化の検討を行うべきでは。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第15位</p> <p>小野 惠章</p>	<p>2. 児童生徒への学習支援強化の方策を問</p>	<p>東日本大震災後に行われた放課後学習支援、コミュニティスクールにおける目指す地域ボランティアの活用、特別支援教育支援員等の施策は十分ではないと思慮する。</p> <p>そこで、以下の点について所見を伺う。</p> <p>(1) ボランティアによらない有償の学習支援強化の方策を探るべきではないか。</p> <p>(2) 支援員の勤務条件や待遇の平準化、人員不足の解消等を検討し、本市独自の施策として展開していくべきではないか。</p> <p>(3) 令和3年度全国学力・学習状況調査での結果に対して、今までの取組への総括をどう評価したのか。</p> <p>(4) 子ども基本条例制定の進捗状況はいかに。</p> <p>(5) 国の子ども庁新設に向け、本市の早期の横断的対応が必要と思慮するがいかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長、教育長】</p>